

未来のつばさ

メールマガジン「つばさニュース」好評配信中!

INDEX

P.2 2016年度 未来のつばさ自立奨学支援事業を振り返って
公益財団法人 楽天 未来のつばさ 理事長 野口修作

P.3 書き損じはがきによるご寄付をありがとうございます!

P.4 子ども達からの感謝のメッセージ

ご支援ありがとうございました!

P.5 子ども達からの近況報告

未来へはばたく子ども達

P.6 2016年度 未来のつばさ 団体向け支援事業
支援先団体からのご報告

P.7 2017年度 未来のつばさ プロジェクト支援事業
支援プロジェクトのご紹介

P.8 寄付のお願い / 財団トピックス

Vol. 24
2017.10

2016年度 未来のつばさ自立奨学支援事業を振り返って

本財団の主管事業は「子どもへの自立奨学支援を目的とした助成事業」と定義されており、この目的実施の制度を「未来のつばさ自立奨学支援制度」と申します。この制度も2011年度より開始され、児童養護施設等また里親制度家庭からの18歳になる子ども達からの応募数も3,000名を超えております。公募による申込から、申請書類による選考・審査にて毎年の支援者を決定する制度であります。制度を継続するには、財団スタッフ以外の延べ80名近いボランティアのお力を毎年お借りいたしております。単純な制度の繰り返しでは、マンネリに陥り時代の必要性からも取り残される事態も想定されます。この制度疲労を防ぐために財団では毎年、諮問委員会にて事業活動の正常化の確認を行い、選考委員会ではより精度の高い審査が出来るように申請書類等の見直しを行っております。昨年度より申請者の状況把握をより深めるため「現状アンケート」の提出を求めています。また、卒園等で社会

へ巣立った子ども達の生活マニュアルとして役立てていただきたく「未来のつばさナビ」を提供いたしております。毎年の限られた原資をより有効に使うためにも、本制度をより多くの方々に知ってもらわねばと思ひ、昨年8月より「つばさニュース」として毎月発行のメールマガジンを発行いたしております。児童養護関連のホットニュースを中心に財団の事業案内、また新社会人には生活の豆知識などを毎月発信いたしております。制度は継続して多くの方々に利用されてこそ意義のあるものであり、今後ともWebサイトを通じてであれ、紙媒体であれ、顔と顔を合わせての交流を通じてであれ、未来のつばさ自立奨学支援制度を通じて多くの方々へ発信を続けて参ります。

公益財団法人 楽天 未来のつばさ
理事長 野口 修作



◆楽天生命保険株式会社 審査員から◆



自分とは違う境遇で育った子ども達の作文、考え方等を読むことが出来る貴重な機会でした。読んでいく中で「自分も負けていられない、もっと頑張らないといけない」と感じ、仕事に対するモチベーションが上がりました。



幼少の頃から親元を離れ、厳しい環境の中で育った子ども達に、少しでも良い環境の中で就職や進学に進んで欲しいと思いました。



今後の日本は、どんどん少子高齢化されていくため、子どもの負担は増すばかりで、ますます厳しい環境になっていくため、子ども達には強く生きて欲しいです。

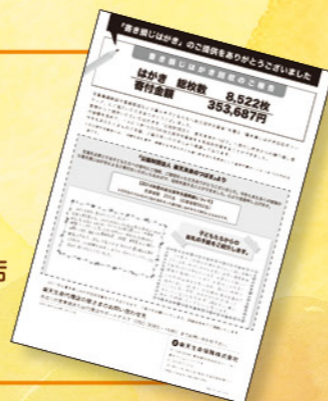
子ども達には、辛いことはあれど、笑顔を絶やさず、頑張ってください。

書き損じはがきによるご寄付をありがとうございます！

4名の追加支援ができました。

はがき総枚数 8,522枚 寄付金額 353,687円

当法人では書き損じ、未使用はがきによる寄付を受け付けています。2016年度も楽天生命保険代理店の皆様から多くのご支援をいただきました。皆様の継続的なご支援に心より感謝申し上げます。支援を必要とする子ども達へのご理解、ご賛同をいただきありがとうございました。



◆2016年度「未来のつばさ自立奨学支援制度」支援結果◆

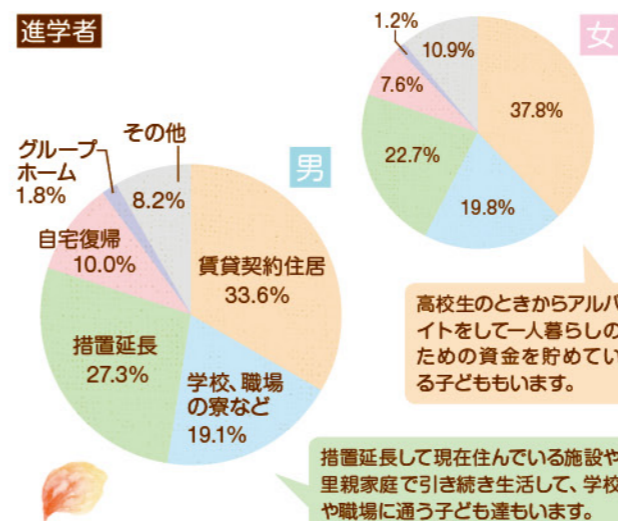
	進路区分		施設区分		男女区分	
	就職	進学	児童養護施設 他施設	里親 ファミリーホーム	男子	女子
応募者数 (562人)	280人	282人	461人	101人	247人	315人
支援者数 (255人)	127人	128人	214人	41人	96人	159人

◆「未来のつばさ自立奨学支援制度」応募者アンケート結果報告◆

財団では昨年度より制度応募者の子ども達の実態調査として、7項目のアンケートを実施いたしました。今回その一部をご紹介します。全項目をまとめた調査報告書はホームページに掲載いたしております。

Q.卒業後の住居はどれに当てはまりますか？

進学者

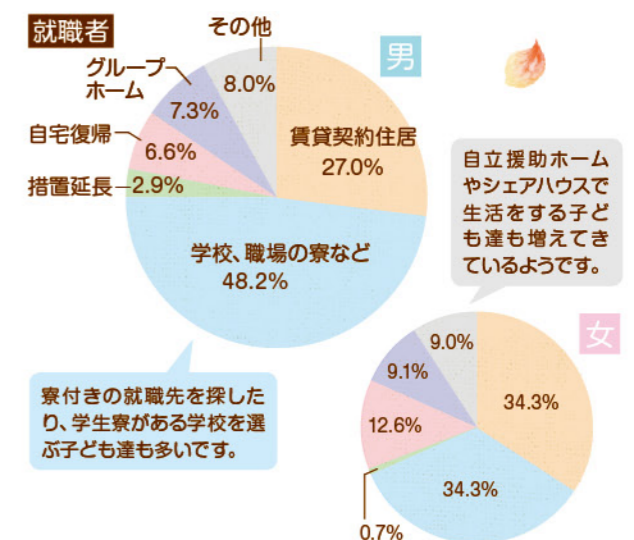


高校生のときからアルバイトをして一人暮らしのための資金を貯めている子どももいます。

措置延長して現在住んでいる施設や里親家庭で引き続き生活して、学校や職場に通う子ども達もいます。

多くの場合、子ども達は18歳で高校卒業と同時に、施設や里親家庭からも退所して一人で自活することになります。

就職者

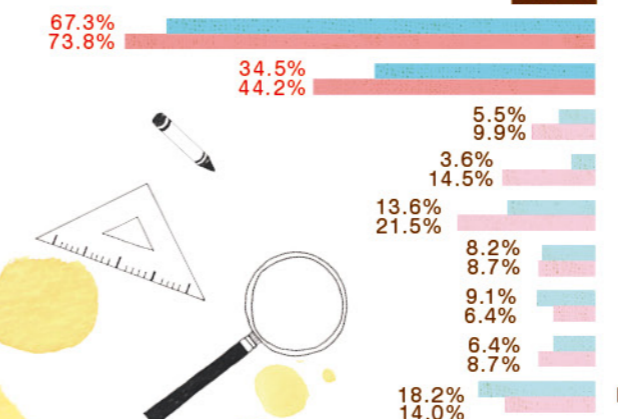


寮付きの就職先を探したり、学生寮がある学校を選ぶ子ども達も多いです。

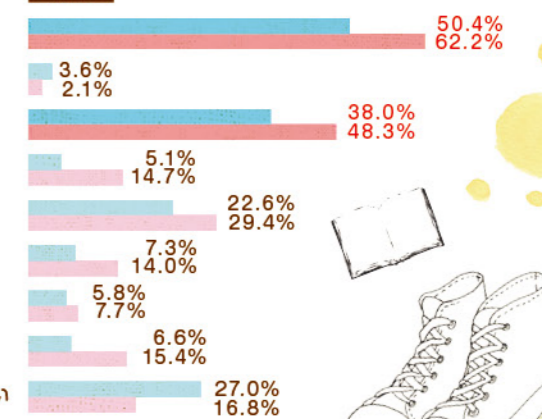
自立援助ホームやシェアハウスで生活する子ども達も増えてきているようです。

Q.現在、悩んだり困っていることはありますか？(複数回答あり)

進学者

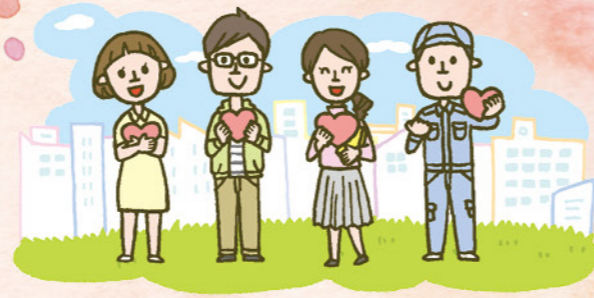


就職者



●寄付者の方へ●

子ども達からの感謝のメッセージ



ご支援ありがとうございました!

進学や就職をする、たくさん子ども達を支援することができました。
子ども達からも、感謝のメッセージが寄せられています。

病院で看護助手として働く

この度は、自立奨学資金の支援ありがとうございました。
私はこの春から病院に勤め、
一人暮らしではなく家で暮らすので一人暮らしもある方より
は不自由を感じる事は少ないけれど、7年間児童養護施設で
過ごしてきたので不安な面も沢山あります。そんな中でこのように
支援して下さる事が本当に強く感じます。
4月からは看護助手として看護師さんのサポート患者さんに関わって
いきます。私も思いやりの気持ちを持って命に代わられる仕事に責任を
持つべき人として頑張りたいと思います。今回の支援金は、
自分の生活などに上手に活用していきたいと思っております。
また寒い時期もありましたのでお体に十分にお気をつけて下さい。

教師を目指して進学

今回は多額の資金を給付して下さいありがとうございました。
頂いたお金は大学に進学するための費用に活用させていただきます。
応援してくれている方々の期待に応えるためにも、
日々の努力を怠らず、最善の結果を出せるよう昇進します。
今は多くの人に支えてもらいながら頑張っています。やがて
大きくなった時に今度は私が他の人達を応援する
立場になれると思います。
私は将来教師を目指しています。一人でも多くの子供に明るい
将来を築かせたい教師になりたいです。
学業と勉学に少し早く社会に貢献できる人間になりたいです。

製造業で働く

この度は私共に奨学金を支給して下さいありがとうございました。
この奨学金は多くの方々から私共の為に立ち上がり、各地で必死に
なって集めて下さったお金だと伺っております。このお金は自動車等
の購入に充てさせて頂こうと考えております。さてよいよ4月からは
新社会人として社会への第一歩を踏み出していかれますが、私が
ここまで成長することができたのも両親や施設をはじめとした多くの
方々の支えがあってこそだと自負しております。これから多くの方々に
支えられて生きていきたいと思います。この施設で生活してきた日々に
自信を持ってまいります。この度は本当にありがとうございました。

理学療法士を目指して進学

この度は、自立奨学資金のご支援ありがとうございました。
私は4月からの新しい生活に向けて、たばさリハビリ助手のアルバイト等に
一生懸命頑張っています。更に児童養護施設も退所し、アルバイトと自炊と
両立しております。
4月からは理学療法士になるために、専門学校に通います。この4年間
通い続け、理学療法士の専門的技術と身に付けたいと思います。更に
自身の目標である、患者に寄り添える理学療法士になるための日々努力
していきたいです。
この度は、このおかげで光栄なご支援誠にありがとうございました。この先、7年
間、このおかげで沢山の思い出があります。おかげで応援してくださる方がいる
ことを思い出し、日々努力に励みます。ありがとうございました。

2017年度の「未来のつばさ自立奨学支援制度」の募集期間は**11月1日～12月22日**です。

今年の春から新たな生活をスタートさせた子ども達の近況報告

未来へはばたく子ども達

施設等を巣立っていった子ども達が、社会へ出てみて実感したその厳しさや楽しさ、
また、多くの人に支えられているという現実について、感謝の気持ちを込め近況を届けてくれました。

「改めて実感した幸せな施設での生活」

●特別支援学校の教員を目指している女の子

大学生活が始まってから、早くも5ヶ月が経ちました。同じ専攻の友人とも打ち解けることができ、講義だけでなく、プライベートな時間も有意義に過ごしています。先日、施設に帰省しました。お風呂は毎日入れるように準備してあって、三食きちんとバランスあるご飯を食べることができる。施設生活で当たり前だった幸せを帰省によって本当に感じました。小・中学生の勉強を見る時にちょっとした話をしたり、幼児と遊んだり、進路の相談にのったり、とても楽しく充実した時間を過ごすことができました。これからは、教育実習でなかなか時間がとれなくなりますが、時間ができたらまた挨拶に行きたいと思います。

「最初の2ヶ月は葛藤の日々でした」

●看護師を目指している女の子

大学に入学してから、飲み込みの早いクラスメイトと自分を比較しすぎて、何度も押し潰されそうになりました。そこで、自分がなぜ看護の道を目指したのか初心に戻って考えたとき、周りの人と比べていても何の得にもならない、覚えるのが遅いならもっと勉強して、人の何倍も実技の練習をしようと思いました。その努力が実ったのか、前期のテストは一発合格。実技テストも好成績。どんなに疲れていても練習した甲斐がありました。また心が折れそうになったら必ず初心に戻り「生きていくことが困難な人々に、生きる希望を与えるために看護師になる」ということを忘れず、今後も日々学んでいきます。

「何でも自分でやることの大変さ」

●就職をして一人暮らしをしている男の子

私は今年の4月から社会人になり、一人暮らしをしています。まず思ったことは、当たり前のことですが、何でも自分でやることの大変さです。お金も考えて使うようにしていますが、家賃、生活費など思った以上に使ってしまうときもあり、貯金していくことの大変さも感じています。未来のつばさ基金でのお金も、本当に感謝しています。施設の職員だけでなく、私が直接会っていない人たちからも応援してもらっているということはとても心強く思います。まだ社会人になって少ししかたっていませんが、多くの方に支えられていることに感謝して、これからも一生懸命頑張っていこうと思います。

「毎日家計簿をつけています」

●4ヶ月の措置延長のち一人暮らしをしている女の子

私は4月から社会人として働いています。最初の4ヶ月は措置延長をして会社まで通っていました。措置延長の理由は一人暮らしのための貯金や仕事、一人暮らしの生活に慣れることが目的でした。生活をしていって一番大変だったことは、「会社に慣れること」と「自炊をすること」です。また、家計簿を毎日つけることでお金の使い方や節約を意識することができました。これからは光熱費や市役所で手続きをすることが増えると思うので、少しずつ慣れていきたいと思っています。仕事は失敗を恐れずに指示がなくても自分で気づき、自分から行動でき、仕事を任せられる人になりたいと思っています。

●羽ばたいていった皆さまへ●

「未来のつばさナビ」—あなたはひとりじゃない—

財団では、近況報告を提出していただいたみなさんに、
～「未来のつばさナビ」～をお送りしています。





未来のつばさ 団体向け支援事業

支援先団体からのご報告

後期(9月～10月受付)分のうち一部の活動報告書をご紹介します。

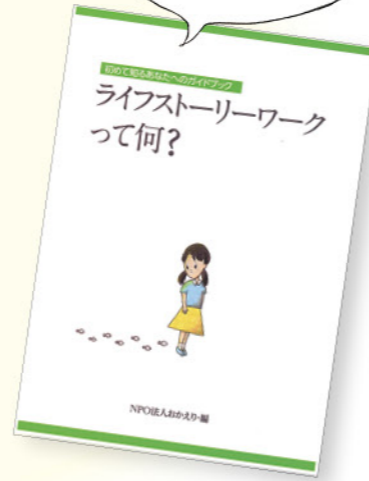
「ライフストーリーワーク ガイドブック」の発行

当法人スタッフを中心に、当法人相談役(ライフストーリーワーク研究者)の助言、「奈良県ライフストーリーワーク研究会(奈良県児童相談所、奈良県内児童養護施設2か所の施設長はじめ職員等で構成)」の協力の下、原稿を作成し編集しました。イラストは当法人支援者の協力を得て、全体の構成・デザイン・ボリューム等はウェブデザイン会社との相談により決定しました。

3月20日、「初めて知るあなたへのガイドブック ライフストーリーワークって何?」500部完成しました。3月31日、奈良県担当課、奈良県児童相談所、奈良県内児童福祉施設その他関係団体等へ配布しました。

配布した方から、分かりやすいガイドブックだと好評をいただいています。今後、可能な限り、奈良県里親会、奈良県児童養護施設協議会代表者会議、奈良県児童相談所、奈良県担当課等会合の場を利用して周知を図るとともに「奈良県ライフストーリーワーク研究会」においては、ガイドブックの内容について共通の理解や認識を深め、確認し、さらなる研究に役立てていきたいです。

共通の理解や認識を深めていこう!



特定非営利活動法人 おかえり

●2016年後期の支援実績●

テーマ	主催団体
子どもたちに生きる力を	NPO法人NGOフク21ふらっとホーム
児童養護施設の学習・余暇支援アドバイザー派遣と支援者スキルアップ研修	特定非営利活動法人 ひだまりの丘
「ライフストーリーワーク ガイドブック」の発行	特定非営利活動法人 おかえり
児童養護施設内の暴力・性暴力・虐待をなくするための安全委員会方式研修会	特定非営利活動法人 CAPNA
社会的養護を必要とする子どもたちの地域での支援を考える講演会	認定NPO法人 サバイバルネット・ライフ
ファミリーホームの子ども達の課外教育事業	一般社団法人 恵育会
里親・里子に関する研修会事業	特定非営利活動法人 神奈川フォスターケアサポートプロジェクト
自立援助ホームの子どもたちへの受験学習支援	一般社団法人 こぶしの華

●2017年前期の支援実績●

テーマ	主催団体
～新しい里親養育スキルを習得し、里親と里子のよい関係づくりを目指す!～ 「フォスタリングチェンジ・プログラム」の実施	特定非営利活動法人 静岡市里親家庭支援センター
自立援助ホームの子ども達の農産物直売所での接客業体験研修事業	特定非営利活動法人 まきば フリースクール
第4回東日本 女性リーダーセミナー～凛としてしなやかに Part 4～	里母の会
児童養護施設内カフェ相談事業	特定非営利活動法人 教育研究所
こころの家まつり	特定非営利活動法人 菊地ファミリーホーム



未来のつばさ プロジェクト支援事業

支援プロジェクトのご紹介

前期(4月～5月受付)分の一部の支援状況をご紹介します。

里親と里子の関係をより良くするために!



～新しい里親養育スキルを習得し、里親と里子のよい関係づくりを目指す!～

「フォスタリングチェンジ・プログラム」の実施

英国専門チームが開発した「フォスタリングチェンジ・プログラム」(里親家庭養育研修)を当センターが今年度、6名の里親を対象にモデル的に実施します。

当研修は、今年2月に開催された当プログラムのファシリテーター養成コースを受講した当センターの元職員が企画運営します。

里親が子どもの行動に注目し、肯定的に受け止めることにより、家庭内や地域、学校での人間関係の小さなトラブルが軽減されます。また、子どもが自分の感情を言葉にすることを導くことにより、毎日の生活に会話が生まれ(里)親子関係にプラスの相互作用が生まれます。

特定非営利活動法人 静岡市里親家庭支援センター

児童養護施設内カフェ相談事業

当NPOの職員(キャリアコンサルタント、産業カウンセラー等有資格者)が富山県内児童福祉施設へ毎月1度訪れ、オープンカフェ形式で話しやすい状況を作り出した上で様々な子ども達と雑談や身近な話、自分の夢や施設を出てからやりたい事等を話し、そのうちグループワーク形式で施設の外の社会資源や一人暮らしをする上での税や役所の届出などの一般常識を学んでもらいます。

個別の施設職員には話しにくい相談や退所の近い子ども達への進路相談などはカウンセリング形式で行い、子ども達の施設内と一般社会のギャップを埋めたり、トラブル時の適切な対応、思春期特有の悩みへのアドバイスなどを行います。

特定非営利活動法人 教育研究所



始まっています!

後期の受付は、2017年10月2日(月)～2017年11月30日(木)です。

	交付金(上限)	交付件数	対象事業
後期	30万円	10件	当年度または来年度実施プロジェクト

実施要項はホームページに掲載しております。(よくあるご質問ページも合わせてご覧ください。)申請を希望する団体は、事務局までお電話ください。

寄付のお願い

- 当財団は、皆さまからの寄付金を財源として運営されています。活動と事業内容にご賛同いただき、ご支援くださいますようお願いいたします。寄付方法は3種類からお選びいただけます。(当財団への寄付は税制上の優遇措置の対象となります)



お振込



オンライン
決済



書き損じ
はがき

▶ ゆうちょ銀行
〇一九(ゼロイチキュウ)店
当座0338402
ザイ)ラクテンミライノツバサ

▶ 三菱東京UFJ銀行
堀留支店 普通0049410
公益財団法人 楽天未来のつばさ

財団トピックス

- 2017年度役員改選で、黒坂三重理事が退任されました。これまでのご尽力感謝いたします。新たに、岩ヶ谷晃久理事(現楽天生命保険株式会社 常務執行役員)が就任されました。
- メールマガジン「つばさニュース」は創刊から一年以上が経過しました。
今後は、寄付者のみならず、児童養護について知識を深めたい方、支援児童、自立した退所者、児童養護関連従事者の方々などを対象にさらなるコンテンツの向上・改善をして参ります。
- 2016年度決算報告、2017年度事業予算等をホームページに掲載しています。



登録ページは
こちらです!

ご意見・ご感想をお待ちしております

楽天未来のつばさ

検索

<http://mirainotsubasa.or.jp/>



公益財団法人
楽天 未来のつばさ

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-5 新日本橋長岡ビル4階
電話:03-5642-7890 FAX:03-3249-7870
E-mail:info@mirainotsubasa.or.jp